



循環型社会を実現するロジスティクスの構築
～個人が変わる、企業が変わる、物流が変わる～

VOL. 3

2006.4 Spring

CGL JOURNAL

Conference on Green Logistics in Japan: ロジスティクス環境会議



CONTENTS

- ロジスティクス環境会議 第1期成果物紹介と活用のすすめ……………①
第1期成果物のグランドデザインにおける位置づけ
各成果物の活用方法と内容について
- ロジスティクス環境会議 第4回本会議報告
 - 開会の挨拶……………③
 - 第1期活動の概要……………④
 - 各委員会の活動報告について……………⑤
環境パフォーマンス評価手法検討委員会/源流管理による環境改善委員会
省資源ロジスティクス推進委員会/リバースロジスティクス調査委員会
共通基盤整備委員会/広報・普及専門委員会
 - 第1期活動の総括……………⑨
 - 企画運営委員会からの提案—ロジスティクス環境宣言—……………⑩
- ロジスティクス環境会議 第2期活動について……………⑪

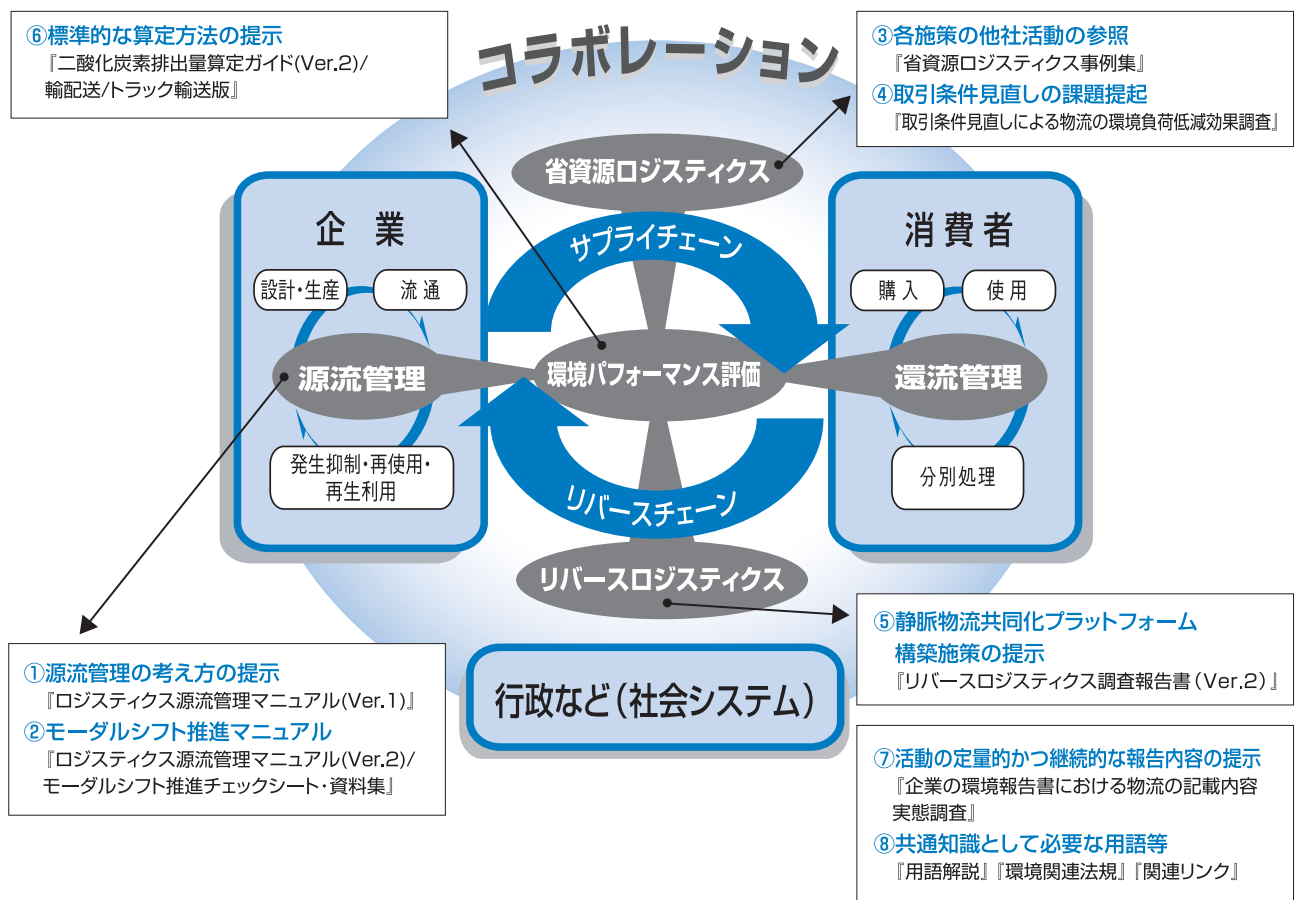
群れをなして飛ぶマガン

マガンは全長72cmでガン類としては中型。ロシア・アラスカ・カナダの北極海沿岸地方、グリーンランドなどで繁殖し、温帯域で越冬します。1930年以前には、ほぼ日本全土に渡来していましたが、それ以降に関東地方や中部地方の渡来地が消滅。1971年に狩猟鳥から除外され、ほぼ同時に国の天然記念物に指定されています。1970年での全国の渡来数は約3,700羽でしたが、1997年には約34,000羽にまで増加しています。

ロジスティクス環境会議 第1期成果物紹介と活用のすすめ

2003年11月から行われてきましたロジスティクス環境会議第1期の活動により、多くの成果物が生まれました。ここでは、これらの成果物の内容について、環境会議の活動の根幹となったグランドデザインにおける位置づけとともにご紹介いたします。つきましては、環境会議メンバーの皆様のみならず、皆様の関係会社の方等多くの方々にご活用いただき、循環型社会を実現するロジスティクス構築の一助としていただければ幸いです。
(なお、各成果物につきましては、第4回本会議(一部、第3回本会議)において配布させていただきましたが、ロジスティクス環境会議ホームページにも順次掲載予定となっておりますので、ぜひご活用ください。)

第1期成果物のグランドデザインにおける位置づけ



環境会議では、グランドデザインを基に各委員会活動等を進めてきた(詳細はP4「第1期活動の概要」参照)ため、第1期活動の成果物も、図のとおり、源流管理をすすめるためのツール(①、②)、省資源ロジスティクス構築のためのツールと課題提起(③、④)、リバースロジスティクス構築に向けた提言等(⑤)、各種環境負荷活動の定量的把握と評価のためのツール(⑥)、活動を進めるための基礎情報(⑦、⑧)と、グランドデザインに沿った形で作成されている。

各成果物の活用方法と内容について

●個人、自部門及び自社が環境負荷の発生源(源流)であるという認識を持ち、自社内での環境負荷低減活動をすすめたい方は↓

①『ロジスティクス源流管理マニュアル(Ver.1)』

荷主企業のロジスティクス・物流部門、物流企業が自ら環境負荷の発生源としての認識を持ち、物流諸活動における環境負荷を最小限に留めるための管理するポイントをマニュアルとしてまとめている。

●モーダルシフトに取り組みたい方は↓

②『ロジスティクス源流管理マニュアル(Ver.2)／モーダルシフト推進チェックシート・資料集』

荷主企業のロジスティクス・物流部門、物流企業の担当者が、モーダルシフト推進を検討、計画する際に考慮すべき事項や関係者との調整すべき事項など、検討プロセスに沿ったチェックシート、関連データなどが盛り込まれた資料集としてまとめている。

●省資源ロジスティクスを構築するにあたり、他社活動を知りたい方は↓

③『省資源ロジスティクス事例集』

モーダルシフト、共同物流、包装資材低減の各施策について、食品・流通分野(36事例) 機械器具・精密機器分野(35事例)、素材分野(14事例)の事例を紹介している。

●省資源ロジスティクス構築の阻害要因と考えられている取引条件見直しについて知りたい方は↓

④『取引条件見直しによる物流の環境負荷低減効果に関する調査報告書』

サプライチェーン全体をとらえて、省資源・省エネルギー化の推進を阻害している要因と考えられる取引条件の実態とその影響度を定量的に把握することを目的として、加工食品、家電製品等を取り扱っている企業を対象に、関係企業間におけるCO₂、リードタイム、物流コスト、積載率などに関する物流実態調査を行った。さらに、取引条件見直しによる物流の環境負荷低減効果を定量的に推計し、その評価をまとめている。

●リバースロジスティクスに係わる課題や構築へ向けた提言を知りたい方は↓

⑤『リバースロジスティクス調査報告書(Ver.2)』

今後本格的に必要とされるリユース、リサイクルに関わる物流のあるべき姿を描くため、家電・OA機器、自動車、食品、物流(包装・梱包資材)の分野を中心に調査活動を行い、リバースロジスティクスの構築が可能となる環境整備を促進する施策と関係者に対する提言をとりまとめている。

●トラック輸配送における二酸化炭素排出量を算定したい方は↓

⑥『二酸化炭素排出量算定ガイド(Ver.2)／輸配送/トラック輸送版』

ロジスティクスの環境負荷として最も関心が高いトラック輸配送における二酸化炭素排出量を算出するため、環境負荷指標の体系や標準的な算定方法※とその事例および現時点において望ましいと思われる按分方法の考え方をまとめている。

※燃料法(標準)、燃費法(準標準1)、改良トンキロ法(準標準2)、従来トンキロ法(簡易)



●自らの活動を環境報告書で報告したい方は↓

⑦『企業の環境報告書における物流に関する記載内容実態調査』

製造業を中心とした186社の環境報告書における物流に関する記載をレビューし、その記載内容をどのように改善すれば良いか、2006年4月から施行される「改正省エネ法」への対応を踏まえ、まとめている。

●ロジスティクス分野に係わる環境問題に関する基本的な用語、法規、情報等を知りたい方は↓

⑧『用語解説』『環境関連法規』『環境関連リンク集』

用語解説…72用語について解説を掲載している。

環境関連法規…環境に関連する法体系図及び29法令について、解説と条文を掲載している。

環境関連リンク…国内及び海外のサイト計217サイトとリンクしている。

※各成果物についてのご意見・ご要望等ございましたら、事務局(本誌巻末ページをご参照ください)までご連絡ください。